

エコライフ・フェア2008

「湿地の恵み展～ラムサール条約湿地の観光と物産～」

平成20年6月7日(土)～8日(日)、東京都代々木公園で開催されたエコライフ・フェア2008(環境省主催)で、日本国際湿地保全連合、ラムサールセンター、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議の共催で「湿地の恵み展～ラムサール条約湿地の観光と物産～」を開催しました。

今回は、ラムサール条約湿地の16の自治体・団体にご参加いただき、うち5団体が職員を派遣してくださいました。当日は、各湿地の美しいポスターや観光資料、物産などを特設ブースに展示し、参加団体担当者やボランティアなど述べ30人によって、続々と訪れる人々に湿地の説明、解説、物産の紹介と試供・試飲の提供、子ども向けの湿地クイズ、湿地保全のための募金活動をおこないました。環境省からご提供いただいた約1800枚のチラシをすべて配布、用意した湿地クイズ650枚もすべてなくなるなど、イベントは大盛況で幕を閉じました。



エコライフ・フェア2008会場入口(東京都渋谷区都立代々木公園)。会場内は多くの人々が来場され、2日間の延入場者数は約67,000人の方で賑わいました。



エコライフフェア会場ブース前での啓発風景。



エコライフフェア会場ブース前での啓発風景。外国の方にも説明をしました。



エコライフフェア会場ブース内。湿地クイズの参加者に説明。